

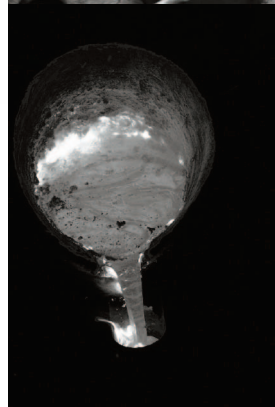
住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の広報誌 [アトムニュース]

ATOM NEWS

2016 WINTER

194

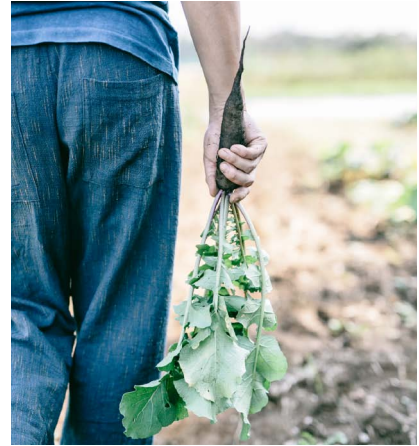




- 3 Friend Circle 野菜農家 クリタタカシさん
- 6 石の神様・仏様 今日はなんだかやたらと寒いね～
- 7 住まいに役立つ仲間たち 家の中をワープする空間『階段』
- 9 CSタワー通信 アトムCSタワーは10周年を迎えます
- 10 Vegetable Atelier 黒大根
- 11 古今東西たてものがたり 京都市上京区 富田屋
- 15 What is ATOM? 2016 秋の内覧会レポート
- 17 SLOWでいこう 岩手県花巻市 やえはた自然農園
- 18 オフタイム

今号の表紙

写真 黒大根



「黒大根」については10ページでご紹介しています

photo by 吉田周平

1981年神奈川県南足柄市生まれ。千葉県八千代市在住。娘の誕生をきっかけに写真に会う。あるがままの日常を独自の視点で撮影する。

読者プレゼント Present



● ドアチャイム Tori

音をテーマにしたブランド「Timbre(ティンブレ)」から、愛らしい小鳥のかたちをしたドアチャイムのご紹介です。手に持ってみるとずっしりと重たい亜鉛ダイカスト製ですが、まるで木工クラフトのようなあたたかみに溢れた、ぷっくりとしたフォルムです。裏側はマグネットになっていて、鉄扉ならそのまま取り付けが可能。木製扉には付属のビスか両面テープを使って鉄プレートを扉に固定し、そこに本体をくっつけます。星が瞬くようなキラキラした音色が、明るい気持ちにさせてくれます。

【サイズ】約W98×H70×D40mm 【材質】本体：亜鉛ダイカスト しっぽ：アルミ

【重量】約310g 【販売価格】5,000円＋消費税 made in Japan

【色】ホワイト・イエロー・ブルーグリーン・ピンク *4色からひとつ選んでお届けします

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方のなかから抽選で5名様にプレゼントいたします。

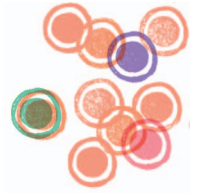
【締め切り】2017年1月31日(火)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

ギャラリーショップ KANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、こだわりのアイテムを取り揃えています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。





野菜農家

クリタタカシさん



クリタタカシ ● 野菜農家「キレド」代表。アトムニュース192号から連載が始まった『ベジタブルアトリエ』や、表紙の鮮やかな写真はクリタさんの作った自慢の野菜。毎号ちよっと風変わりな野菜たちを紹介しています。詳しくは10ページをご覧ください

千葉県は四街道市、クリタタカシさんの営む畑「キレド」は住宅街のど真ん中。「野菜の一生をみる」をテーマに年間150種以上もの野菜を生産するクリタさんの語る「野菜のおもしろさ」とは。



— 元々石川県で会社員をされていたのですが、なぜ農業に惹かれるようになったのでしょうか。

僕、とにかく食べることが大好きなんです。石川にも行きつけのレストランは多かったのですが、ある時そこへ卸している農家さんを訪ねたことがありました。畑で採れた野菜をそのまま食べさせてもらったところ、「こんなおいしい野菜があるのか!」と感動して。そこから農業に興味を抱くようになりました。

— それで、農業の道へと進むように。

はじめはどちらかというと「その農家さんと仲良くなりたい」という気持ちが強かったですね。ではどうしようかと考えているときに、たまたま「市民農園募集中」という新聞広告を見つけて、家庭菜園に挑戦することに。農業を始めれば直接教わりにいけると思っただんです。

それから毎朝5時に起きて畑作業、

その後会社へ行くという日々が始まりました。

— 毎朝5時起き! 大幅に生活が変わったのでは?

色々な発見をすることが楽しくて、朝は自然と目が覚めるようになっていきました。トマトはどういう風に緑から赤に変化していくのか。花はどんな形をしているのか。畑に行けばおいしい野菜にありつけるのがうれしいということも大きかったと思います(笑)。そんな生活を2年ほど続けた後、会社をやめ、農家になりました。

— ずいぶん思い切った決断ですね。

「農業は天職だ」と感じていたので、迷いはほとんどありませんでした。サラリーマン時代にはなかった「つくりたいもの」に畑を通して出会えたことがうれしかったのです。自分がおもしろいと思うところに転ばないと、という意識もありました。



また地元・千葉に、教わりたい、師匠と呼びたいと思える方がいらっしやうったということが、農業の道へと進む強いきっかけになりました。

——千葉の師匠のもとではどのような学びがありましたか？

学びとしては、発想のしかたなどの精神的なことや、人に興味を持ってもらうための方法論が大きかったです。キレドでは、野菜の説明をするまえにまず問いかけて考えてもらおうようにしています。「これ、なんの花だと思っ？」、「どんな味がする？」という風に突っ込みどころを残しておく心を心がけています。

師匠の畑は朝とお昼、そして15時頃



に1時間の休憩時間が設けられていて、そこでの師匠とおしゃべりがとても役立ついるなと感じます。当時の僕は「はやく技術を教わりたいのに、いつまで休憩しているんだ」という気持ちでした(笑)。

——そんなユニークな師匠の教えを受けて、今キレドで大切にしていることは？

僕とキレドのテーマでもある「野菜の一生をみる」というところです。市場に出回っていない部位でもぜひ食べてほしい、という野菜はたくさんあります。

たとえばルッコラ。普通は葉っぱの部分しか食べられていませんが、じつは花芽もすごくおいしい。そういう野菜のおもしろさを常に発見していきたいと思っています。農家はクリエイターですから。そしてその魅力を、お客さま一人ひとりに届けたい。

——レストランなどではなく、一般の人に野菜を届けるといふ点についてこだわりのあるようですが…。

ユニークでおいしい野菜が、手の込んだ料理を出すレストランにしか卸されないということは、非常にもったいないことです。



かじっただけでおいしい野菜には、複雑な調理が必要ありません。シンプルな料理でも食卓が一気に豊かになることに気付いてほしいのです。

——そんなおいしい野菜たちのなかには珍しいものも多いようですが、栽培する際に気を付けていることなどは？

原産地の環境に合わせて育てるようになっていますね。たとえばメロンは砂漠の植物なので、水は一切与えてはいけません。

もちろん凶鑑に育て方が載っている野菜もありますが、そのとおりにやるとうまくいかないということも。ヤーコンという野菜は「日当たりの良いところ」と書かれていますが、畑で見



る限りは半分日陰といった環境の方が良いみたい。最終的には自分の畑で作らないとわからないことは多いです。

——大変なことはなんですか？

自然災害は大変です。2年前の大雪の際には、小松菜を育てていたビニールのトンネルがつぶれて、葉がすべて折れてしまったということがあります。普通なら廃棄になってしまいうような状況です。でも僕は、その小松菜が春になるとおいしい新芽を出すことを知っていました。だからビニールだけ撤去して野菜はそのまま残しておき、

新芽を収穫することができました。

キレドは1対1の直販形式をとっています。キレドの野菜を信頼し、楽しみにしてくれているお客さまがいるからこそできたことです。

——今後キレドはどのように進化するのでしょうか。

キレドの理念に共感してくれる仲間たちと一緒に農業をやっていきたいと思っています。弟子をとる予定はありませんが、一緒に同じ未来を見て頑張る従業員たちがいます。

具体的な今後の目標としては、畑を「ただ野菜を作る場所」に終わらせず、地域にとって大切なコミュニケーションの場としていくこと。作物がなっている様子をふらっと見にきてくれるような、つい散歩コースにしたくなるような、そんなスペースにしていきたいと考えています。

四街道市はベッドタウンで、家の増加に伴いどんどん畑が減ってきています。ここで新しい都市農業をつくりあげることができれば、僕らをモデルケースとして他の都市や住宅街でも畑や緑が増えていくはずですよ。

Kiredo Fast Vegetable

キレドカーがやってきた!!

「キレドの野菜を皆に届けるにはどうしたらいいんだろう？」
そんな思いから生まれたピタサンドをのせて、今日も元気に出店中!



クリタさんの奥さま、クリタケイコさんによる移動キッチン、キレドカー。販売中の「野菜ギョウキユツとピタサンド」は、大きなピタパンにキレドの野菜をめいっばい詰め込んだ逸品です。

ピタパンの中には、サラダ以外にも炒め物や和え物、時には煮物がいっしょに入っていることも。料理一つひとつを感じるもよし、かぶりついてまざりあう風味を楽しむもよし、食べ方は人それぞれです。

また、同じく季節の野菜を使ったスープもおすすめ。寒い冬にはあたたかいスープで暖まってみてはいかがでしょう。

どちらも畑で採れたばかりの野菜を使用しているため、メニューは随時更新中。季節の移り変わりを味わうことができますよ。

出店予定は公式サイトでのインフォメーションから。

www.kiredo.com



石の
神様

仏様

23

群馬県吾妻郡草津町 光泉寺 地藏菩薩

今日はなんだかやたらと寒いね〜

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神様・仏様。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、わたしたちに何かを語りかけてくれます。



「毎年のことだから慣れっこさ」とうそぶいてみても、

やっぱり寒いときは、僕らだってつらい。

おまけに雪が降り積もって、身動き取れなくなってしまうと、

正直「なんでぼくたちはばかりこんな目に？」と

愚痴のひとつも言いたくなってしまふ。

だけど、人間も地藏も、愚痴を吐いたら負けだよな。

雪がこれだけ積るのは、もう冬が盛りを過ぎ、

先が見えたということなんだから、こんな日にこそ、

「おっ、今年は春が早そうだな」と言ってみよう。

そうすると、不思議なもので、本当に春が早く来たりするんだ。

「つらい」と言えば言うほど、心が余計に重くなる。

「楽しいなあ」と言えば、だんだんと気持ちが浮き立ってくる。

言葉というものは、口から出たとたん

に神様みたいな力を持って、

君をいい方にも悪い方にも導いていくんだよ。

光泉寺 地藏菩薩 (群馬県吾妻郡草津町)

古くからある温泉地にはお寺が付きもの。地面からお湯が湧き出す温泉自体が信仰の対象だったためです。人々は病気平癒などを祈願するため、そこに石の仏像を建てました。このお地藏さんは、近くに「安永七年(1778年)」という文字が刻まれた石柱があることから、それと同時代のものと推定されます。

●JRバス草津温泉バスターミナルから徒歩1分



文・写真 吉田さらさ 寺と神社の旅研究家

寺、神社、仏像に関する執筆と講師が主な仕事。取材旅行を重ねるうちに、石の神様、仏様の像の魅力に気づき、写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワークとなった。2014年秋に、撮りためた写真をまとめた本『明日がちょっと幸せになる お地藏さまのことば』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)を上梓。その他、『近江若狭の仏像』、『石仏・石の神を旅する』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

<http://sarasa77.hatenablog.com/>

住まいに役立つ
仲間たち

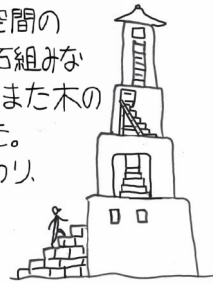
命を守るはしご

むかしアメリカ先住民のプエブロインディアンの人たちは、入り口を1階には作らず、2階に配置していました。その理由としては、敵からの攻撃があったときに、素早くはしごを2階に上げてしまうことで、家が要塞のような役割を果たしたのです。



建物は時代と共に上に成長し
それに応じて階段も変化していく

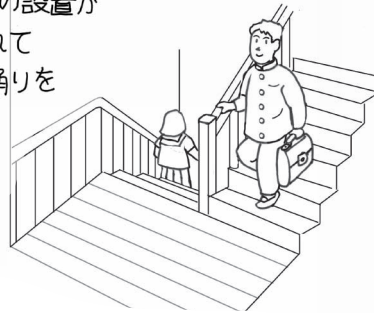
遺跡の洞窟を見ていると内部空間の上への移動には岩を削り、また石組みなどで階段が造られていました。また木のはしごも多く使われてきました。階段も時代とともに素材がかわり、金属やコンクリートなどに変化してきました。



踊り場か?

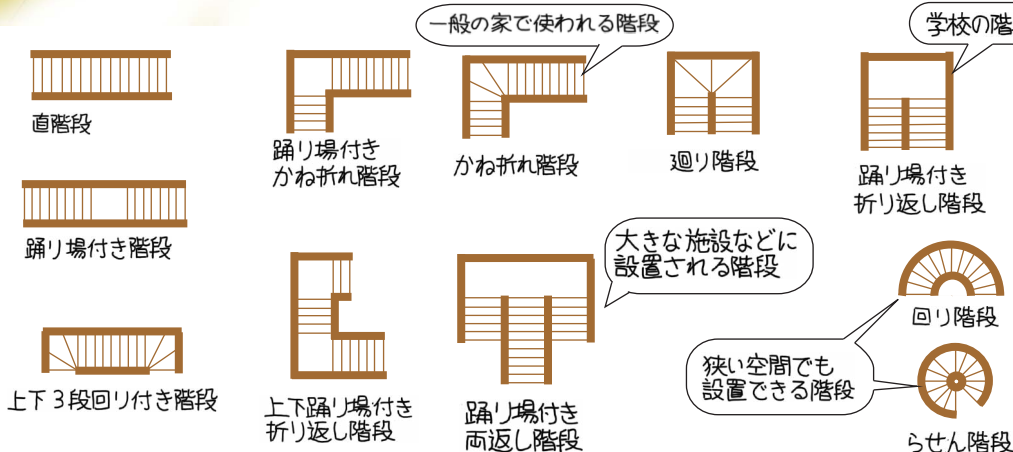
学校の階段にはなぜ踊り場があるの?

大人が小学校の階段を上ると、段差が低いので、歩きづらいと感じませんか? これは児童の体型に合わせて階段の建築仕様が定められているからです。階段の踊り場は、たとえば高さ3mを超える場合3m以内ごとに踊り場の設置が建築基準法で定められています。決して人が踊る場所ではなく、小休止と転落止めの場所なのです。



さまざまな階段の種類と特徴

必要に応じて考えられた階段



STAIRS
家の中をワープする空間 『階段』 (移動)

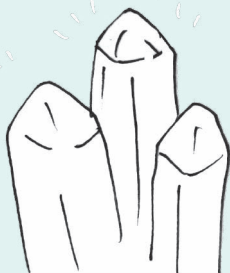
二階建ての家を建てる時、階段は一階と二階を繋ぐ大切な役目を果たします。設置する場所によっては、家の中の動線がおおきく変わってしまうなど、階段は頭を悩ます空間である一方、とても魅力的な世界を演出できる空間でもあるのです。



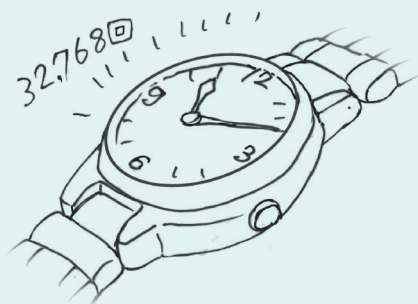
塩浦 信太郎
信太工房主宰/カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作。ほかにデパート各店での展示販売などを行っている

水晶の不思議なチカラ

水晶は二酸化ケイ素が結晶してできた石英の一種で、原石は6角柱の状態で見られます。不純物が入っていないものは透明度が高く、特に透き通ったものを水晶と呼びます。この鉱物はマグマによって熱せられた水が冷えることによって形成されます。



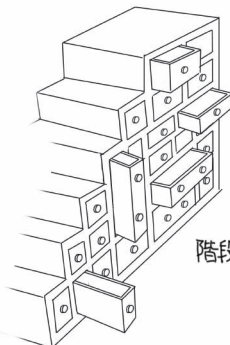
太古の昔から、人類は世界中でこの鉱物を大切にしてきました。宗教の儀式や神聖な場所で使ったり、また健康のために身につけたりしてきました。なかでもヒマラヤ地帯で採れるヒマラヤ水晶は、100年でおおよそ1mmしか成長しないと言われていますが、チベット密教の僧侶にも使われ、『ヒマラヤ山魔法の石』とも呼ばれる貴重な水晶です。



クォーツ時計に水晶が使われていることは有名ですが、もとをたどれば、水晶に圧力をかけると振動して電圧が発生する圧電気現象を1880年に発見したジャック・キュリーとピエール・キュリーの功績です。デジタル時計では毎秒32,768回の振動を電氣的に処理して表示しますが、ほぼ狂うことがないため現在でも時計や家電製品の中に使われ続けています。

階段下も大切な家の空間

階段の下の空間をどのように使うかは、建築設計の知恵の見せどころです。トイシ、物置、収納引き出しなどなど。また変わったものでは階段ごと移動できるものまであります。



屋根裏までの折りたたみ式の階段

アンネ・フランクの隠し階段ではありませんが、狭い空間を利用したコンパクトな階段はやはり知恵の産物でしょうね。

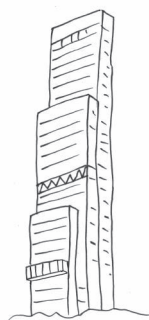


映画の舞台のような豪華な階段を歩いてみた

私の経験ではニューメキシコ州のギャラップにあるホテル、エル・ランチョに映画に出てくるような豪華な階段がありました。西部劇が盛んな頃ジョン・ウェインなどが映画撮影に利用していたホテルです。ちなみに各部屋には全て有名な俳優の名前がついていました。



高層ビルが数々できても必ず階段は残る



現在、日本でいちばん高い階数を有するのは大阪あべのハルカス60階ですが、この高さの昇降となると当然エレベーターを必要とします。時代と共に階段から電気昇降機（エレベーター）へと代わってきたわけですが、そのビルでも緊急の手段として人間の足で上り下りできる非常階段は必ず残ります。



ア

トムCSタワーが建つこの場所は旧地名を芝田村町しばたむらこうちょうといひ、古くは芝家具の産地として知られていました。芝家具とは芝地区で製造販売された高級洋家具のこと。その関係からこの場所にはかつて金物屋が多く集まり、「赤レンガ通り」は別名「金物屋通り」と呼ばれていたほどでした。

そんな芝田村町に1980年、当時のアトムリビンテック（旧高橋金物）社長・高橋良男は、内装金物のショップ&ショールーム亜吐夢金物館を開設。これにより建築設計者やデザイナー、エンドユーザーの生の声をいち早く捉え、製品開発にこれを活かし、また、お客さまとの相互の交流を目指したのです。

2007年、亜吐夢金物館は「住空間創造企業」を目指し、アトムCSタワーとして生まれ変わりました。

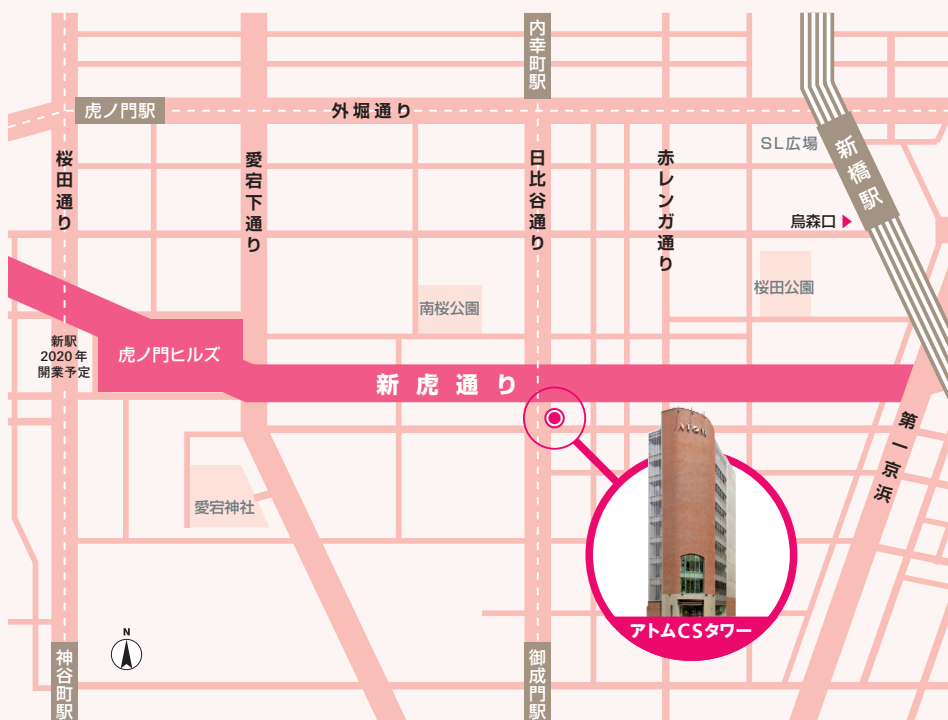
芝田村町、そして新虎エリア。いつの時代も、これからも。

2017年1月、アトムCSタワーは10周年を迎えます

そ

んなCSタワーのオープンから10年。新橋・虎ノ門地区は、時代の移ろいとともに目覚ましく変貌を遂げています。特筆すべきは新橋から虎ノ門までを一直線に結ぶ「新虎通り（2014年3月開通）」を主体とした新エリアです。

新虎通りの名前の由来は新橋と虎ノ門を意味するだけにとどまりません。つまりは「新(New)」と「虎



(Traditional)、「新しい」と「伝統的」が融合する魅力的な街にしたいという願いが込められています。

未来の東京のシンボルストリートとなる新虎通りとともに、CSタワーはこれからも一歩ずつ、お客さまとともに歩んでまいります。今後のCSタワーと、新橋・虎ノ門地区の発展にご注目ください！

文 新井真紀子（アーバンスタイル事業部）

シントラトピ!

「東京新虎まつり・東北六魂祭パレード」が開催されました



11月19日・20日の2日間、「東北×東京」「伝統×革新」をテーマに、東北が誇る六祭りが新虎通りに集い、「鎮魂と復興」へののろしを上げました。東北の未来が一層輝けるものとなるよう祈りを込めて、集まった人々と踊り手とが一緒に盛り上がりました。

アトムCSタワー

東京都港区新橋 4-31-5 TEL.03(3437)7750

Open 月～金 10時～18時
Close 土・日・祝日（第1・第3土曜日は営業）

JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩8分
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩8分

見た目はクール。 でも、煮込むと豹変。 黒大根。

ぜひ見てほしい、

このシルエットと色合い。

クールな見た目と相まった、

強い辛味と硬い食感が特徴です。

少し気難しい黒大根ですが、

煮込めばがらりと変わります。

コツは、しっかりと火をいれること。

皮目にぎゅっと集中した辛味が

徐々にうま味に変化していきます。

相性が良いのは黒キャベツやタケノコ。

同じく癖のある食材と一緒に煮込むと

風味が入り交じって、もう最高。

いつもの大根もいけれど、

たまには「個性派」も取り入れたい。

冬らしい、シツクな黒大根はいかが？



クリタタカシ | 野菜農家「キレド」代表。サラリーマン時代に出会った「梨のような大根」に感銘を受け、農業の道に。現在は千葉県四街道市にて、年間150種類以上の野菜を栽培している。「野菜の一生をみる」「レストランでしか食べられないような野菜を、食卓にも」を基本理念として活動中。同県千葉市には、とれたて野菜を味わうことのできる「キレドベジタブルアトリエ」も。

キレドベジタブルアトリエ
千葉県千葉市若葉区小倉台5-13-4-1F
www.kiredo.com



NEW

2wayソフトクローズ 上部吊り車

[FCX-2940-K-H]



NEW

跳ね上がり抑制付 吊り車

[AFD-2940-K-H2]

開く⇄閉じる 両サイド跳ね上がり抑制機能付きの 2wayソフトクローズ

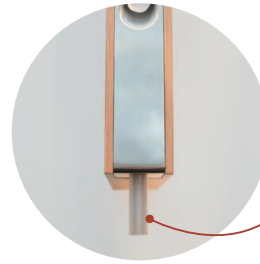
2wayソフトクローズ上部吊り車ひとつで開閉どちら側もソフトクローズが作動しますが、これまでは跳ね上がり抑制機能は戸先側にしかありませんでした。戸尻側に跳ね上がり抑制付吊り車を使用することで、ソフトクローズも跳ね上がり抑制もすべて搭載され、またひとつ引き戸の動きがグレードアップします。



NEW

MTS フランス落し

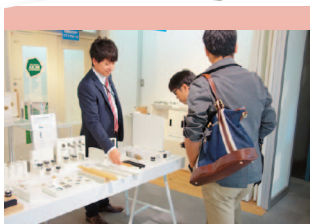
移動間仕切りの戸を固定する金具です。シャフトのストロークは17ミリで一度クリックし、最大で25ミリまで落とせる二段式になっていますので、スムーズな操作ができます。またシャフトの先端に軟質樹脂チューブを覆せていますので、ガタつきによる音鳴りの発生を防止します。



軟質樹脂チューブが
ガタつきの音を和らげる

2016 秋の内覧会レポート

「飾る住まいに福来る」をキャッチフレーズに、10月に大阪と東京でアトムリビンテック「2016 秋の内覧会」を開催いたしました。上吊式から下荷重式引戸までお客様のさまざまなニーズに対応した引戸ソフトクローズをはじめ、少ない引き込み代で省スペース設計のシンクロタイプ連動引戸、折戸ソフトクローズシステムや新型折戸金具など、数多くの新製品と施工例をご覧いただきました。



アトムリビントックが 「日経IR・投資フェア2016」に 出展しました

8月26日(金)・27日(土)の2日間、国内最大級の個人投資家向けIRイベントとして東京ビッグサイトで開催された「日経IR・投資フェア2016」に今年も出展いたしました。出展企業は85社、来場者数は2日間で1万6000名を上回りました。



展示ブースではマンツーマンでのご説明を実施、また2日目には別会場で会社説明会を実施しました。イベント初日の朝から多くの方々に展示ブースにお立ち寄りいただき、会社説明会では120名を超える方々にご出席いただきました。内装金物全般を取り扱うアトムリビントックとしては、商品の約8割をオリジナルとする企画開発力や全方位の販売力、ファブレス企業としての優位性などを含め、当社のことをより深くご理解いただくことができたのではないかと思います。ご来場くださいました皆さまには、心より御礼申し上げます。

今後ともすべてのステークホルダーの方々との良好な関係を構築・維持できるように、さまざまな機会をとらえ、積極的な情報発信に努めてまいります。



展示ブース



会社説明会



当社の業績概況や事業戦略にスムーズにアクセス! アトムリビントックの「株主・投資家情報」サイトをぜひご利用ください。

www.atomlt.com/ir



[受けプレート]



[ボトムタイトエンド]

引戸を閉じたときにボトムタイトエンドに内蔵されたマグネットが作動して戸の下からスクリーンが下り、床との間にできる隙間をなくします。光漏れ防止のほか、冷暖房効果を高める気密性の向上にも役立ちます。ソフトクローズとの併用が可能で、かつコンパクトであるというメリットがあります。

東京会場 アトムCSタワー



ご来場くださいましたお客様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

世界的に有名な高級絹織物「西陣織」発祥の地、京都・西陣。その西陣の地に百三十一年前に建てられた『富田家』は、京町家としての様式を数多く残す貴重な建物。その文化的価値から、平成十一年（一九九九年）に国の登録有形文化財に登録され、平成十九年（二〇〇七年）には、京都市の景観重要建造物にも指定された。

京町家の様式を残す建築

京都の町をそぞろ歩く。

ふと出会う町家のある風景は、古都ならではの風情を感じさせる。

町家（町屋）とは、住居と店舗が合体した職住一体型の建築様式。古くは平安時代にその原型が生まれ、米屋や酒屋、炭屋、織物屋、呉服屋など、さまざまな職種の職人や商人が店舗を構え、商いを営むかたわら、住まいも兼ねていた。

同じような町家は日本各地に見られるが、京町家はほかとは異なる工法や構造、意匠に特徴がある。たとえば、壁伝いにめぐらした竹作りの犬矢来。細かな木を縦横に組み合わせた弁柄格子。軒先を直線的に見せる一文字瓦など。そんな京町家の雰囲気はいまなお色濃く残しているのが、西陣の商家特有の様式をもつ「富田屋」である。

もともとは初代富田屋籐兵衛が、江戸中期に京都・伏見で両替商を始めたのが端緒である。商売は順調だったが、鳥羽伏見の戦いで家が全焼。心機一転、高級絹織物の「西陣織」発祥の地、西陣へ。

当時、建ち並ぶ糸問屋や織物商が一日に千両に値する商品を売買したという西陣織の中心地「千両ヶ辻」で絹を積み、荷車を引いて呉服問屋としての商売に励んだ。明治十八年（一八八五年）、現在の京町家「富田屋」を建てたのは、十代富田屋籐兵衛。いまから百三十一年前のことであった。

格子のデザインで職業を表す

家の正面に立って、ひとときわ目を引くのが弁柄格子のデザインである。その形状は職業によって異なり、「富田屋」の場合、太めの親格子の間に細目格子が二



明治18年に創業した歴史ある呉服問屋の佇まい。西陣の商家特有の様式である弁柄格子と一文字瓦の軒先が京町家の雰囲気を漂わせる

西陣で京町家の伝統と文化に触れる



本。呉服を美しく見せる採光に適した格子で「呉服屋格子」と呼ばれる。

軒先を見ると、端を切り落としたような瓦が一直線に並んだ「一文字瓦」。その屋根の上には江戸時代から魔除けの風習である「鍾馗しよんたう」の瓦人形が置かれる。

全体は典型的な京町家の造りで、間口が狭く奥行きが広い、いわば「うなぎの寝床」といわれる建築スタイル。道路に面した部分に店舗を設けた「表屋造り」で、その奥に居住用の別棟がつながる。両方

の棟は中庭で隔てられ、それぞれが「通り庭」で結ばれている。

「通り庭」とは、玄関から裏庭まで通り抜けられる土間の部分。出入口であり奥への連絡通路であると同時に、井戸や竈かまど、流しなどが置かれた台所の役割も兼ね備える。

その台所の上部には天井を張らず、梁などの木組みを大胆に見せ、炊事の熱や煙を逃がす吹き抜けの空間が広がる。外光を採り入れ、風の通り道となる構造である。

公私の空間を分けた隠し階段

屋敷内には三つの蔵と二つの井戸、六つの庭がある。主屋の奥に茶室と離れ座敷があるが、いたるところに建築主である十代当主の「こだわり」と「心くばり」がひそんでいる。

一見、押し入れかと思わせる襖を引き開けると、そこに「隠し階段」。階段下の空間は引き出しに活用できるよう設計されている。一階は呉服問屋としての商業スペースであり、二階は家族が暮らす団らん場所。その公と私の空間を分ける工夫であり、できるだけ生活感を見せない「心くばり」でもある。

また、離れに通ずる廊下は、一カ所も継ぎ目がない赤松の一枚板を張ったもの。十代当主みずから職人とともに山に入り、納得のいく木材を目利きし選び抜いた本物への「こだわり」である。

廊下の天井は「船底天井」の造り。商いの場は現実世界だが、奥座敷は限られたお客様を招く非現実・非日常の世界。そこへ船に乗っていくようにお連れしたい、という意味が込められている。

その奥座敷は、貴重な四方柱しほうまさの床柱のある書院造り。かつては能舞台としても使われ、足拍子の音響効果を高めるために、畳の下に大甕おおがめが仕込まれているという。



- ①「火袋(ひぶくろ)」と呼ばれる「通り庭」の上部に広がる吹き抜け空間
- ② 古い着物や帯、茶道具、掛け軸などを収蔵・保存している「中蔵」
- ③ 扉は漆塗りで、神事の道具を収めていた当主だけが入れる「寶蔵(たからぐら)」
- ④ 主屋から眺める座敷庭には季節感を感じる草木が配され心を和ませる
- ⑤ 離れに通ずる廊下は「船底天井」の造りと赤松の一枚板を張ったもの



アトムの視点



襖を開けるまで、そこに階段があるなんて想像もしなかったので、まさに「開けてびっくり!」。からくり屋敷のような興奮を覚えながら階段を上った取材スタッフ一同でした。鉄かんの部分には使い込まれた風合いを残しています。

撮影：アトムニュース編集部



およそ130年前の黒い箆笥。それぞれの引き出しの中央に鍵がついていて、さらに鍵穴を隠すようにキキョウちゆうかげ(正しくは「中陰裏桔梗」)がデザインされたカバーが施されています。よく見ると花びらは鑿たがねで細かく打ってあります。



龍を描いた豪華な螺鈿(らでん)が施された座卓のある奥座敷。座敷は能舞台としても使用され、その庭には能舞台で見る背景と同じ位置に松の木が植えられている

京の文化と美意識の象徴

京都の粹人(すいじん)に欠かせない茶室は、武者小路千家官休庵九代家元・千宗守氏により「榮寿」と命名された。通常の茶室の「にじり口」は庭側にあるが、雨や雪の日にも気軽に茶の湯を楽しめるよう、あえて室内に置かれている。

また屋敷内の各所に神棚がしつらえられ、いまでも毎朝炊きたてのご飯と神水(じんすい)(井戸水)を各神様にお供えすることから一日が始まるという。こうしたすべてが、京の文化と美意識であり、西陣の地で育まれてきた「伝統」「風習」「しきたり」なのだ。

「富田屋」は、それを守り伝える「生きた町家」として、平成十一年に国の登録有形文化財に登録。それを機に、建物は「西陣くらしの美術館」として公開され、十三代当主、田中峰子氏のもとで新たな一步を踏み出した。

京町家の見学だけでなく、商家のしきたりや暮らしのありように触れ、着付けや茶席の作法を学ぶコースも体験できる。代々受け継がれてきた京町家は、京都の歴史と伝統文化を伝える象徴的存在であり、日本人の心の、まさに原点なのである。

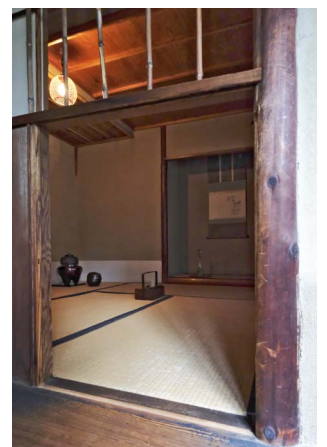
INFORMATION

西陣くらしの美術館 富田屋

- 所在地：京都市上京区大宮通一条上ル ● TEL. 075-432-6701
- 開館時間：10:00～17:00(最終入館:16:00) ● 休館日：無休(予約制)
- 料金：基本プラン [町家見学と京のしきたりを学ぶ] 2,000円+消費税
オプション [着付け体験] 4,000円+消費税
[お茶席体験] 2,000円+消費税
[伝統弁当・茶席の点心] 3,000円+消費税
[フルコース特別料金] 10,000円+消費税 etc.
- 交通：京都駅からタクシーで約15分
市バス「一条辰橋・清明神社前」下車 徒歩約3分
「今出川大宮」下車 徒歩約3分
- ホームページ：http://www.tondaya.co.jp/



漢詩が螺鈿で刻まれた200年以上前の収納箆筒



廊下側に「にじり口」がある茶室



やえはた自然農園では無農薬、無肥料、無耕作の農業を行っています。「道ばたの野草は、何もしなくても毎年きれいな花を咲かせます。農作物も同じですよ」と語る、オーナーの藤根さん。東日本大震災の経験から人々の繋がり大切さを痛感し、敷地内に「農園がふえ・そら」を自ら建設。現在では数多くのイベントを行っています。



お米・陸羽132号

畑は耕さない。肥料や農薬も用いない。草や虫も敵としない農園に。

風車(停電のとき水のくみ上げ非常用電源として使っている)

『屋外イベント会場』
映画上映会やライブイベントなどが定期的に行われています。



お米・ひとめぼれ

お米・ササシグレ

お米とお米の間には
稗が仲良く育っていますが
お米の収穫前には
刈り取ります。

ここで育つさまざまな
豆たちが味噌になり、醤油になり
そして、料理に使われます。

農園がふえ・そら
Cafe SOLA (仮)

この本を読んで
一念発起する。

『自然農法わら一本の革命』 福岡正信
『自然農』 鳥山敏子・川口由一



農機具置き場

息子さんの隠れ家スペース

パントリー

ホビ・コーン

キビ

キウイフルーツ



- 麦
(南部麦、ユキチカウ、キタカミ)
時期を分けて育てる
大豆類
ナンブシロ× (白大豆)
ミヤギシロ× (白大豆)
黒光 (黒豆)
納豆小粒、黒干石
枝豆、小豆

完全した野菜は、
すでに次の種として
収穫準備されて
いました。



初めて自然農を始めた時の
ふたつの畑。草の中から元気にも
ち米などが背を伸ばして
いました。

この畑は、麦の時期と豆の時期を
交互に耕作している。

耕さない田んぼ、もち米(ヒメノモチ)、黒米(朝紫)



● やえはた自然農園

岩手県花巻市石鳥谷町八重畑
9-20-5
HP: <http://yaehata.com/wp/>
Mail: info@yaehata.com
TEL: 0198-46-9606



profile 藤根 正悦・香里 [ふじねしょうえつ・かおり]

1956年、正悦さんは八重畑の地に生まれる。20代の頃、工場のライン設計などを手がけ、その後仲間と会社を立ち上げたものの、忙しさのあまりからだを壊してしまう。それを機に、以前から興味を持っていた「自然農」を独学。一念発起し、やえはた自然農園を立ち上げる。もともと農業を行っていた実家の畑の一部で「無肥料、無農薬、無耕作」の実験をスタート。父親や近隣の農家の人たちにあきらめられながらも徐々に収穫があがるようになり、ようやく目標としてきた自然農を実現しつつある。香里さんは東京生まれで、以前はコンピューターのプログラマーだったが、同じ自然農に興味を持つ仲間として出会い結婚。新たな道が始まりました

読者の声

「ベジタブルアトリエ」にある瑞々しいスイートハラペーニョの切断面の写真がとても美味しそうでした。(東京都 K・T様 男性)

どのページも興味深く、文章も美しく、思わずノートに書き留めました。(大阪府 N・M様 男性)

「住まいに役立つ仲間たち」のコラムはいつも「なるほどなー」の連続で面白いです！ 絵・解説ともに見やすく勉強になります。(神奈川県 N・M様 女性)

「幸せの国への静かな道」ゆかりのある場所なので、興味深く拝見しました。切り取る瞬間で新たな発見のある写真の楽しさを感じました。(東京都 H・H様 男性)

建築で金物選びは空間の出来までかわってくる重要な部分です。職人さんの技を生かすのもあり、線をなるべく減らす工夫による極限のシンプルさをつくるのもあり。デザインや建築設計に関わる者の独りよがりに見えるけど、出来上がった空間は万人が息をのむはず。そこを目指したいなあ。(愛知県 S・N様 女性)

ATOMNEWSいつも楽しく読んでます。いろいろな記事があって、いろいろなことが勉強になって、とても面白いです。ATOMNEWS大好きです！ これからも楽しみにしています！(^^)!(佐賀県 T・T様)

編集後記

2014年3月に開通した新虎通り。新橋と虎ノ門間の1.4kmを結び、片側の歩道だけでも13mもある大きな道路は、古き良き新橋界隈の街に、少々くすぐったい新しい風を運びながら、新たな街の顔を作りはじめています。この秋は通りの並木も色づき、歩道のタイルも敷き詰められ、カフェも歩道に席を作ったりと、賑わいを見せつつあります。そんな新虎通り新橋4丁目交差点のすぐそばにある、当社のショップ&ショールームATOM CS TOWERにも、まだ当社をよくご存じないお客さま、近隣にお勤めのお客さまも立ち寄って下さり、お話しする機会も増えたことは大変うれしく思います。11月には東北六魂祭パレードも開催され、2017年1月で10周年を迎える当館としては、今後も地域の皆さまにもご贖いいただけるよう、通りとともに成長していきたいと思えます。(アオガ)

INFORMATION

アトムCSタワー公式HP

1階ギャラリーショップKANAGU
新着アイテムのご紹介やイベント情報、
ATOMNEWS関連記事をお届けしています。

☞ <http://www.atomlt.com/cstower/>

「アトムCSタワー」で検索してください。
アトムリピンテック公式HPからもご覧になれます。



見てね!



営業本部 田島 詩都子

販売部門のサポート業務と庶務を担当

日々、穏やかに暮らすことを目標に

淡々と家事をこなしています。

そう、淡々とやらないとグチがでてしまいます(笑)。

私だけ? でしょうか?

土日は、子どものサッカー観戦を楽しみにしています。

私も学生時代はテニス部で、部活中心の生活をしていたので

子どものサッカーやっている姿をみると

合宿や試合や先輩とのあれこれを思い出し

とても懐かしい感じがします。

駒沢オリンピック公園や、大井ふ頭中央海浜公園など

大きな公園に行けるときは特に好きで

樹々に癒される感じがとても気持ちよく

愛犬のモコも公園を楽しんでいます。

あとカメラ女子(おばさん)もしています。

サッカーしている姿とか撮るのが好きです。

カメラの基本がまだわかっていないので

時間があつたらカメラ教室に行ってみたいなど

ひそかに思っています。

あと好きなことは、ジャムをつくることです。

子どもを産んでから、果物アレルギーが出てしまい

大好きだったフルーツが・・・食べられない・・・泣。

でも、熱を加えることで

山盛り食べても大丈夫なことに気づき

季節のフルーツを鍋でコトコト。

夜な夜なやるのがとても幸せです。

たくさんつくるので、

友達におすそ分けするのも楽しみのひとつです。

寒くなってきたので、そろそろ味噌づくりをしようかな♪

#サッカー #公園 #カメラ女子 #ジャムおばさん #味噌づくりかな? 考え中



手づくりの
レモンカード



愛犬モコとたじぼん

個人情報の取り扱いについて

アンケートや読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、読者プレゼントおよび「ATOMNEWS」の発送にのみ使用いたします。ご本人の承諾のない限り、第三者に提供することはありません。また、ご応募の集計結果は個人を識別できない形で管理の上、「ATOMNEWS」の企画・編集・制作の参考にさせていただきます。



住まいの金物、取りそろえました。



New!

www.atomlt.com/catalog/

住まいの飾り職人

ATOM LIVINTECH アトムリビントック株式会社

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)
 特販事業部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833
 卸売事業部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435
 ■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5
 アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565
 亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
 TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282
 ■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F
 TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015
 ■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
 TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661
 ■広島営業所 / 〒733-0031 広島県広島市西区観音町16-9 みさおビル1F
 TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



<http://www.atomlt.com>